

法人名	横浜市
施設名	横浜市竹之丸保育園

発表者名 (職名)	清 智博 (保育士)	住所	横浜市中区竹之丸53番地1		
発表者名 (職名)	山内 里織 (保育士)	TEL	045-641-1639	FAX	045-641-1613
		メールアドレス			
		URL			
		定員	120名	職員数	24名

発表の概要・内容

なりきり遊びやごっこ遊びが大好きな3歳児クラスの子どもたちの思いに応えるために、保育者は子どもたちの気持ちに寄り添った環境づくりに取り組んできました。

【エピソードに見られる子どもたちの気づきや成長】

保育者は子どもたちの「やってみたい」「こうしたい」という思いを受け止め、一緒に相談しながらお面やマント、画用紙の食べ物などのモノづくりを楽しんできました。秋頃、子どもたちは『ぱくぱくはんぶん』というユーモアたっぷりの絵本が好きになり、絵本に出てくるケーキを「食べてみたいな」という思いがみられたので、早速保育者は子どもたちと相談しながら大きなケーキ作りに取り組みました。子どもたちは、完成した大きなケーキを見て、「はんぶんがない」ことに気づきます。保育者と一緒に「はんぶん」の大きさのケーキ作りを進めていき…最後にはとうとう一口サイズのケーキができあがりました。子どもたちはできあがったケーキに触れ、物語の登場人物になりきって繰り返し遊びを楽しむ中で、次第に「この遊びを見てもらいたい」という気持ちが芽生えてきました。

絵本との出会いから『ぱくぱくはんぶん』の劇ごっこへと遊びが広がる過程で、役決めの時に恥ずかしがったり、なかなか決めづらい子どももいました。時間を作り子どもたちの思いや気持ちを聞き、一人ひとりに丁寧に対応したことで、友だちの存在が心強さになり、子ども自身から参加したい気持ちに変わっていききました。子どもたちは絵本の“登場人物になりきる楽しさ”だけでなく、“友だちと一緒に遊びの場を共有する楽しさ”や“絵本の世界が再現できた喜び”を感じていました。



【まとめ】

保育者は、子どもたちの「やってみたい」「こうしたい」という思いを逃さず受け止め、素早く対応するよう心がけました。また、一人ひとりの気持ちを丁寧に汲んだことで、子どもたちの主体的に参加する姿を引き出すことができました。さらに絵本からまるで出てきたようなケーキが完成し、目を輝かせる子どもたちをみて、さらに保育者は「子どもたちの思いにこたえたい」「こうしたらもっと楽しめるのではないか」と環境を整えるようになりました。こうして保育者と子どもたちが楽しい気持ちを共有し、担任間で話し合いながら環境づくりをしたことがより発展的な活動を展開することにつながりました。

メモ